

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体			
		評価点	重み係数	評価点	重み係数				
Q 建築物の環境品質						3.4			
Q1 室内環境			0.40			3.1			
1 音環境		3.8	0.15	3.5	1.00	3.6			
1.1 騒音		3.0	0.40	3.0	0.40				
1.1.1 暗騒音レベル		3.0	1.00	3.0	1.00				
1.1.2 設備騒音対策		-	-	-	-				
1.2 遮音		5.0	0.40	4.3	0.40				
1.2.1 開口部遮音性能	アルミサッシ遮音性能T-2	5.0	1.00	5.0	0.30				
1.2.2 界壁遮音性能	遮音間仕切Dr55	3.0	-	4.0	0.30				
1.2.3 界床遮音性能(軽量衝撃源)	スラブ厚150+ループパイルタイルカーペット6.5	5.0	-	5.0	0.20				
1.2.4 界床遮音性能(重量衝撃源)	スラブ厚150+ループパイルタイルカーペット6.5	4.0	-	3.0	0.20				
1.3 吸音		3.0	0.20	3.0	0.20				
2 温熱環境		3.0	0.35	3.0	1.00	3.0			
2.1 室温制御		3.0	0.50	3.0	0.50				
2.1.1 室温設定		3.0	0.63	3.0	0.63				
2.1.2 負荷変動・追従制御性		-	-	-	-				
2.1.3 外皮性能		3.0	0.38	3.0	0.38				
2.1.4 ゾーン別制御性		3.0	-	3.0	-				
2.1.5 温度・湿度制御		-	-	-	-				
2.1.6 個別制御		-	-	-	-				
2.1.7 時間外空調に対する配慮		-	-	-	-				
2.1.8 監視システム		-	-	-	-				
2.2 湿度制御		3.0	0.20	3.0	0.20				
2.3 空調方式		3.0	0.30	3.0	0.30				
3 光・視環境		3.3	0.25	3.3	1.00	3.3			
3.1 昼光利用		4.2	0.30	4.0	0.30				
3.1.1 昼光率	各階のロビーとなる交流室は窓を大きく確保した。b=3.74 h=2.1	5.0	0.60	5.0	0.50				
3.1.2 方位別開口		3.0	-	3.0	0.30				
3.1.3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.20				
3.2 グレア対策		3.0	0.30	3.0	0.30				
3.2.1 照明器具のグレア		-	-	-	-				
3.2.2 昼光制御		3.0	1.00	3.0	1.00				
3.3 照度		3.0	0.15	3.0	0.15				
3.3.1 照度		3.0	1.00	3.0	1.00				
3.3.2 照度均斉度		-	-	-	-				
3.4 照明制御		3.0	0.25	3.0	0.25				
4 空気質環境		3.0	0.25	2.7	1.00	2.9			
4.1 発生源対策		3.0	0.60	3.0	0.63				
4.1.1 化学汚染物質		3.0	1.00	3.0	1.00				
4.1.2 アスベスト対策		-	-	-	-				
4.1.3 ダニ・カビ等		-	-	-	-				
4.1.4 レジオネラ対策		-	-	-	-				
4.2 換気		3.0	0.40	2.3	0.38				
4.2.1 換気量		3.0	0.50	3.0	0.33				
4.2.2 自然換気性能		3.0	-	1.0	0.33				
4.2.3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	0.33				
4.2.4 給気計画		-	-	-	-				
4.3 運用管理		-	-	-	-				
4.3.1 CO ₂ の監視		3.0	-	-	-				
4.3.2 喫煙の制御		3.0	-	-	-				
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-	3.5			
1 機能性		3.4	0.40	3.6	1.00	3.4			
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.60	3.0	0.60				
1.1.1 広さ・収納性		3.0	-	3.0	-				
1.1.2 高度情報通信設備対応		3.0	-	3.0	1.00				
1.1.3 バリアフリー計画		3.0	1.00	3.0	-				
1.2 心理性・快適性		4.0	0.40	4.5	0.40				
1.2.1 広さ感・景観	交流室の天井高2.5m,住居部分の天井高2.5m	3.0	-	4.0	0.50				
1.2.2 リフレッシュスペース		3.0	-	3.0	-				
1.2.3 内装計画	2.機能に応じた内装、3照明計画との一体的計画、4.インテリア	4.0	1.00	5.0	0.50				
1.3 維持管理		-	-	-	-				
1.3.1 維持管理に配慮した設計		3.0	-	-	-				
1.3.2 維持管理用機能の確保		3.0	-	-	-				
2 耐用性・信頼性		3.5	0.31	-	-	3.5			
2.1 耐震・免震		3.8	0.48	-	-				
2.1.1 耐震性	建築基準法に定められた25%の耐震性を有する。	4.0	0.80	-	-				
2.1.2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-				
2.2 部品・部材の耐用年数		3.5	0.33	-	-				
2.2.1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.23	-	-				
2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	低汚染型アクリルシリコン系塗材吹付、一部タイル貼	5.0	0.23	-	-				
2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	石こうボード下地 ビニルクロス貼り	4.0	0.09	-	-				
2.2.4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.08	-	-				
2.2.5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.15	-	-				
2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.23	-	-				

2.3 適切な更新				-	-	-	-
2.4 信頼性				3.0	0.19	-	-
1	空調・換気設備			3.0	0.20	-	-
2	給排水・衛生設備			3.0	0.20	-	-
3	電気設備			3.0	0.20	-	-
4	機械・配管支持方法			3.0	0.20	-	-
5	通信・情報設備			3.0	0.20	-	-
3 対応性・更新性				3.4	0.29	3.8	1.00
3.1 空間のゆとり				-	-	4.6	0.50
1	階高のゆとり	2階、3階 階高3.1m		5.0	-	5.0	0.60
2	空間の形状・自由さ			3.0	-	4.0	0.40
3.2 荷重のゆとり				3.0	-	3.0	0.50
3.3 設備の更新性				3.4	1.00	-	-
1	空調配管の更新性			3.0	0.17	-	-
2	給排水管の更新性			3.0	0.17	-	-
3	電気配線の更新性	点検口等により仕上を傷めることなく更新・修繕が可能とする		5.0	0.11	-	-
4	通信配線の更新性	点検口等により仕上を傷めることなく更新・修繕が可能とする		5.0	0.11	-	-
5	設備機器の更新性			3.0	0.22	-	-
6	バックアップスペース			3.0	0.22	-	-
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.30	-	-
1 生物環境の保全と創出				3.0	0.30	-	-
2 まちなみ・景観への配慮		屋上の室外機置場に目隠しを設置している。		4.0	0.40	-	-
3 地域性・アメニティへの配慮				4.5	0.30	-	-
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	キャンパス総合整備計画として、法人、大学、小学校とで取組んで		5.0	0.50	-	-
3.2	敷地内温熱環境の向上	20%以上の緑地、屋上への設備機器配置		4.0	0.50	-	-
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-
1 建物の熱負荷抑制		ポイント法によるPAL値 181		5.0	0.40	-	-
2 自然エネルギー利用				2.5	0.20	-	-
2.1	自然エネルギーの直接利用			2.0	0.50	-	-
2.2	自然エネルギーの変換利用			3.0	0.50	-	-
3 設備システムの高効率化				3.0	0.40	-	-
4 効率的運用				-	-	-	-
4.1	モニタリング			3.0	-	-	-
4.2	運用管理体制			3.0	-	-	-
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-
1 水資源保護				3.0	0.15	-	-
1.1	節水			3.0	0.40	-	-
1.2	雨水利用・雑排水再利用			3.0	0.60	-	-
1	雨水利用システム導入の有無			3.0	1.00	-	-
2	雑排水再利用システム導入の有無			3.0	-	-	-
2 非再生性資源の使用量削減				4.0	0.63	-	-
2.1	材料使用量の削減			3.0	0.07	-	-
2.2	既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.24	-	-
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	高炉セメントを基礎部躯体に採用		4.0	0.20	-	-
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	3種類以上のエコマーク商品の採用(衛生器具、床材等)		5.0	0.20	-	-
2.5	持続可能な森林から産出された木材			3.0	0.05	-	-
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	内部間仕切りの乾式化、内装材と設備を錯綜させない計画		5.0	0.24	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.8	0.22	-	-
3.1	有害物質を含まない材料の使用	塗料、接着材等はMSDSIによる管理がされている材料を使用する		5.0	0.32	-	-
3.2	フロン・ハロンの回避			3.3	0.68	-	-
1	消火剤	ハロン消火剤を一切使用していない		4.0	0.33	-	-
2	断熱材			3.0	0.33	-	-
3	冷媒			3.0	0.33	-	-
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-
1 地球温暖化への配慮				3.0	0.33	-	-
2 地域環境への配慮				3.6	0.33	-	-
2.1	大気汚染防止	燃焼機器を使用しない		5.0	0.25	-	-
2.2	温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-
2.3	地域インフラへの負荷抑制			3.6	0.25	-	-
1	雨水排水負荷低減			-	-	-	-
2	汚水処理負荷抑制			3.0	0.33	-	-
3	交通負荷抑制	駐輪場、サービス車路・駐車場の確保、周囲に影響が少ない車動		5.0	0.33	-	-
4	廃棄物処理負荷抑制			3.0	0.33	-	-
3 周辺環境への配慮				2.5	0.33	-	-
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	-
1	騒音			3.0	0.33	-	-
2	振動			3.0	0.33	-	-
3	悪臭			3.0	0.33	-	-
3.2 風害、日照阻害の抑制				1.9	0.40	-	-
1	風害の抑制			1.0	0.70	-	-
2	日照阻害の抑制	異なる用途地域である隣地側への日影にも配慮した計画としてい		4.0	0.30	-	-
3.3 光害の抑制				3.0	0.20	-	-
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			3.0	0.70	-	-
2	星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-